

甲状腺外科草子 153

北条五代の決戦場：河越

杉野 圭三

戦国の三大奇襲戦と呼ばれる戦いがある。

河越の夜戦：天文 15（1546）年 4 月 20 日

巖島の合戦：天文 24（1555）年 10 月 1 日

桶狭間の合戦：永禄 3（1560）年 5 月 19 日

「桶狭間」を知らない日本人は皆無だが、「巖島の合戦」や「河越の戦い」の知名度は低い。



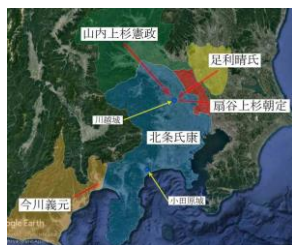
北条氏康

北条綱成

北条幻庵

後北条家の二代目**北条氏綱**は天文 6 年（1537）7 月、扇谷（おうぎがやつ）上杉朝定の居城・河越城を攻略、関東制圧の拠点とした。その後、この城をめぐる争奪戦が始まり、天文 14 年（1545 年）扇谷上杉朝定、関東管領山内上杉憲政らが 65,000 人で河越城を包囲。さらに、古河公方足利晴氏も上杉連合軍として 20,000 人を率いて参戦した。

これに対し河越城を守るのは**北条綱成**（1515－1587）と**北条幻庵**（？－1589）朝倉能登守、師岡山城守らの約 3,000 人。北条綱成は氏綱の義理の息子、幻庵は氏綱の弟である。包囲された河越城内は兵糧に飢えることとなった。



天文 15 年（1546）、三代目**北条氏康**（1515－1571）は救援のため、約 8,000 人を率いて着陣し、上杉方へと夜襲をかけた。この機に呼応し、河越城内の北条綱成が、地黄八幡の旗を立て「勝った、勝った」と声を挙げ古河公方足利晴氏の陣に突入、晴氏を敗走させた。上杉連合軍は大混乱に陥り、上杉朝定が

討たれ上杉憲政も敗走した。

上杉・足利連合軍の戦死者は 1 万 3 千人とされる。連合軍の軍勢 80,000 人との軍記に書かれているが、実際は扇谷上杉朝定 3,000 人、山内上杉憲政 12,000 人、古河公方足利晴氏 5,000 人の計 20,000 人だったとの説もある。詳細不明な部分が多い夜戦である。戦いの結果、関東管領や古河公方の旧勢力のパワーバランスが崩壊し、北条氏は関東に勢力を拡大した



時の鐘



川越の街並み

現在の**河越（川越）**は**小江戸**として、街並みや「時の鐘」が若者たちに大人気の観光名所となっている。



河越城址石碑



河越城本丸御殿

川越市内に**河越城**を思わせるものは、城址の石碑と本丸御殿だけであり、市立博物館にも河越夜戦の資料は驚くほど少ない。



河越夜戦説明板

河越城絵図

当時の兜

河越は関東制覇のための最重要拠点で、北条氏康の信頼厚く猛将として名高い北条綱成と一族の重鎮の北条幻庵を城の防備に当たらせ、北条五代の命運をかけた一大決戦であった。

家に帰り、川越にこの歴史的夜戦の資料が少ないことを嘆いていたらカミサンが一言、「宮島にも**巖島の合戦**の資料が少ないわね！」、参りました！

参考：東国武將たちの戦国史、Wikipedia

（一甲状腺外科医の徒然なる随想）

2025 年 10 月 3 日